2020年12月期（第42期）

第２四半期決算説明資料

㈱小田原エンジニアリング

2020年８月11日

ODAWARA ENGINEERING CO., LTD.

○経済の動向

・新型コロナウイルス感染症が世界的に大流行

・多くの国において入国制限措置が取られる

・国内において緊急事態宣言発令による移動自粛要請が発出

・個人や企業の活動が大きく制限

・我が国を含め世界各国の経済活動は停滞し、厳しい状況が続いた

© 2020 Odawara Engineering Co., Ltd.　All rights reserved.

○連結業績概要

ODAWARA ENGINEERING CO., LTD.

≪営業成績≫

（単位：百万円）

指標	実績	前年同四半期比	増減要因
売　上　高	5,083	12.0%減	➢ 巻線機事業において下期以降に売上を予定している案件が多い ➢ 巻線機事業の一部輸出案件において、新型コロナウイルス感染症による渡航制限措置の影響を受けた ➢ 送風機・住設関連事業において、新型コロナウイルス感染症の影響による売上の落ち込みがあった
営業利益	62	84.7%減	➢ 巻線機事業の自動車関連向け新製品の開発コスト増 ➢ 新型コロナウイルス感染症による渡航制限のため、巻線機事業において、現地工事の外部委託等のコストが発生 ➢ 送風機・住設関連事業の売上減少等
経常利益	82	81.3%減	
親会社株主に帰属する四半期純利益	16	94.7%減	

© 2020 Odawara Engineering Co., Ltd.　All rights reserved.

○連結セグメント業績概要

ODAWARA ENGINEERING CO., LTD.

≪セグメントの業績≫

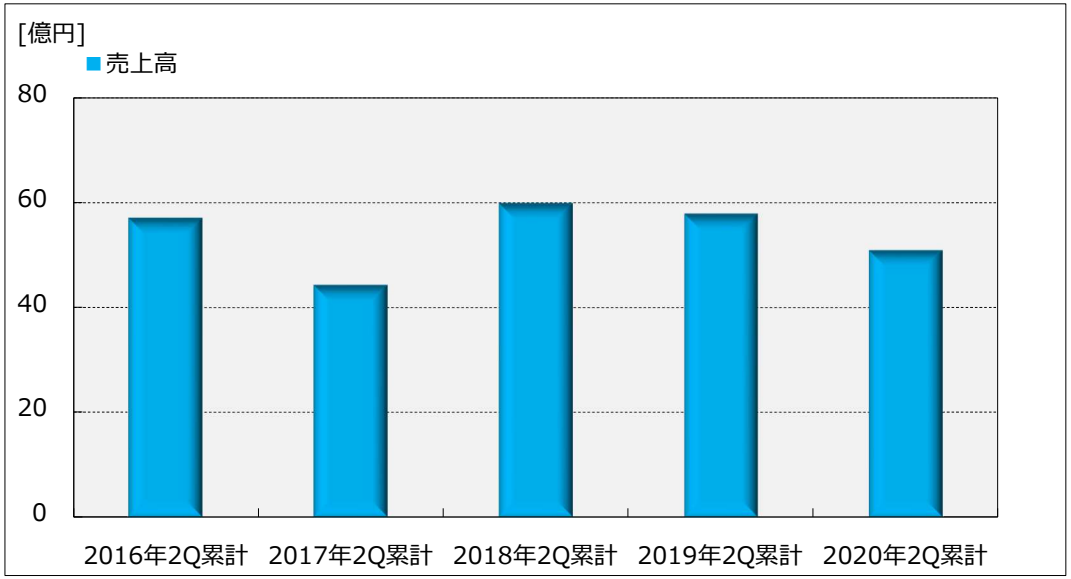
（単位：百万円）

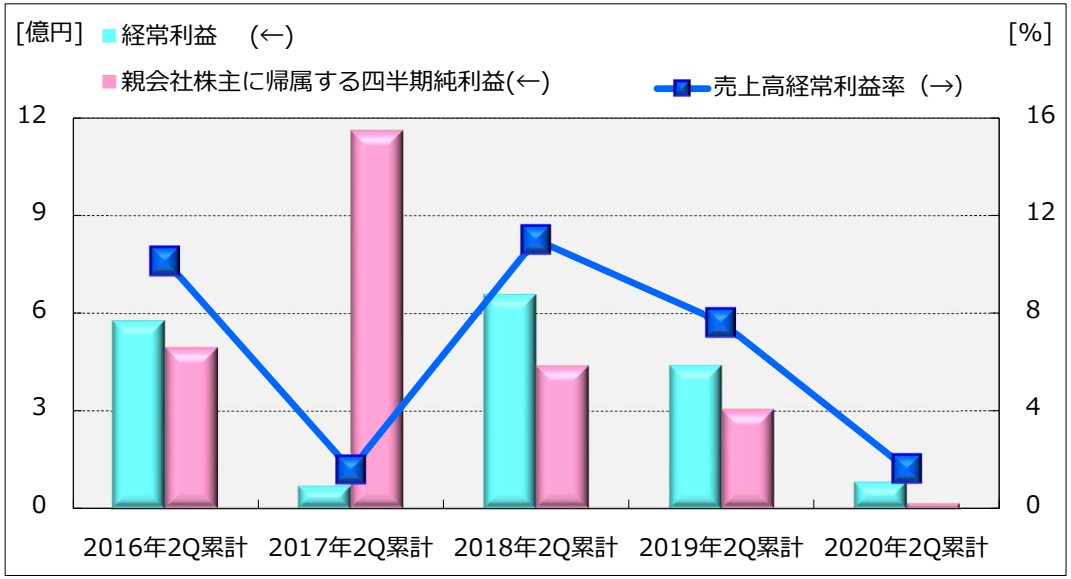
セグメント		実績	前年同四半期比	増減要因
巻線機事業	売上高	3,186	13.3%減	➢ 受注残高は高水準を維持、生産は引き続き好調に推移 ➢ 下期以降に売上を予定している案件が多い ➢ 一部輸出案件において、新型コロナウイルス感染症による渡航制限措置の影響を受けた
	セグメント利益	300	49.5%減	
送風機・住設関連事業	売上高	1,896	9.8%減	➢ 新型コロナウイルス感染症の影響により、主要取引先の生産活動が停滞 ➢ 工作機械向けを中心とする軸流ファンの売上が落ち込む ➢ 浴室照明器具及び住宅換気装置の主要取引先が、新型コロナウイルス感染症の影響により営業活動自粛
	セグメント利益	▲56	－	

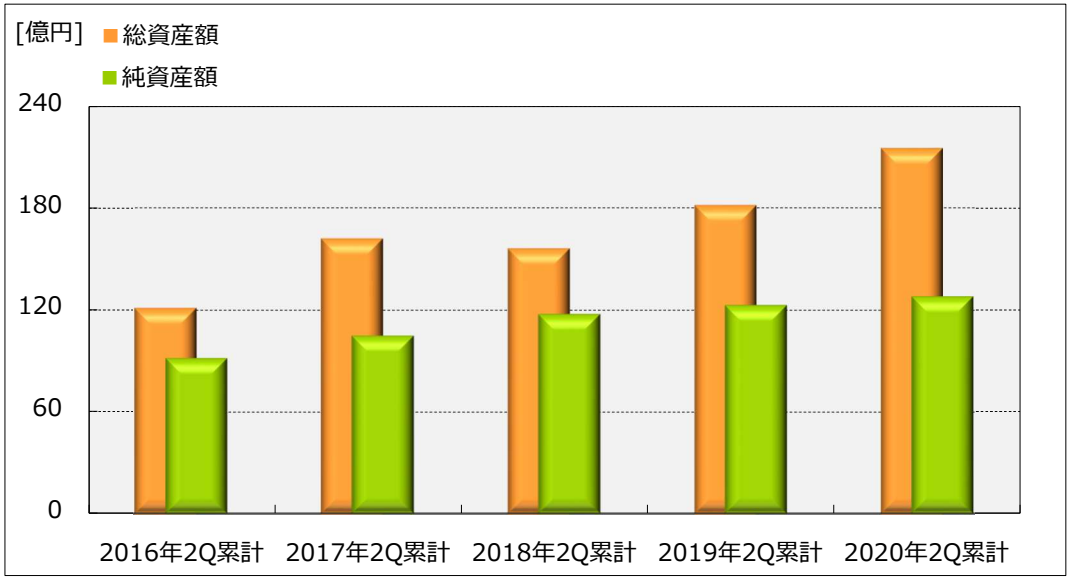
※送風機・住設関連事業における前年同四半期は13百万円のセグメント損失

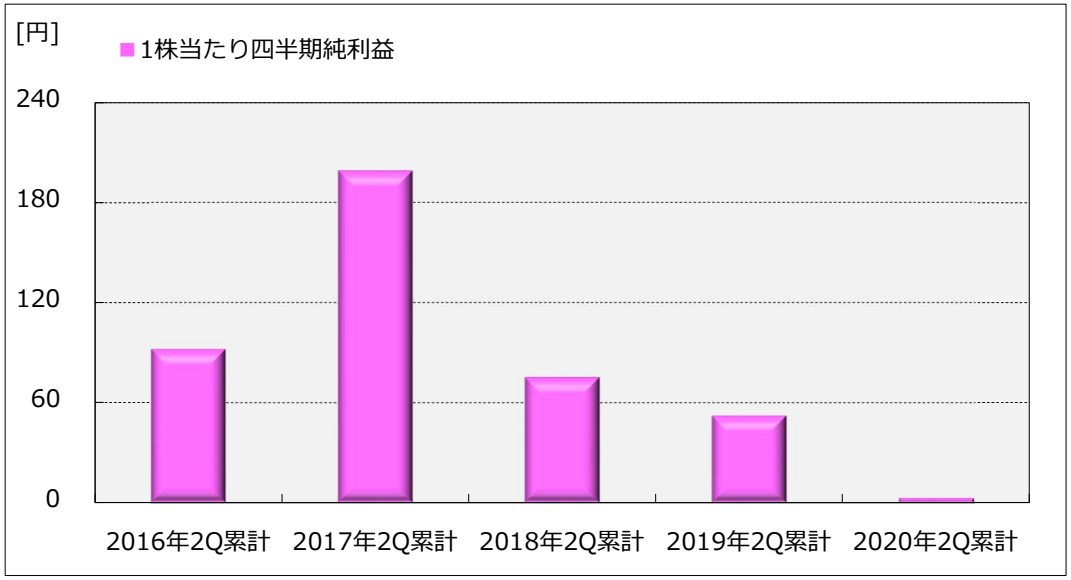
© 2020 Odawara Engineering Co., Ltd. All rights reserved.

○連結業績の推移









© 2020 Odawara Engineering Co., Ltd. All rights reserved.

○連結業績の推移

	2016年第2四半期累計	2017年第2四半期累計	2018年第2四半期累計	2019年第2四半期累計	2020年第2四半期累計
売上高（百万円）	5,702	4,418	5,982	5,779	5,083
経常利益（百万円）	578	69	659	440	82
親会社株主に帰属する四半期純利益（百万円）	495	1,162	439	305	16
純資産額（百万円）	9,149	10,461	11,739	12,255	12,775
総資産額（百万円）	12,102	16,670	15,612	18,152	21,496
1株当たり四半期純利益（円）	91.88	198.72	75.13	52.14	2.74
売上高経常利益率（%）	10.1	1.6	11.0	7.6	1.6

© 2020 Odawara Engineering Co., Ltd. All rights reserved.

○連結業績予想について

国内においては新型コロナウイルス感染者が増加し、感染症再拡大について予断を許さない状況が続いております。また、世界的にも新型コロナウイルス感染症収束の見通しは未だ不透明であり、経済全体の規制及び自粛の影響が、引き続き大きなインパクトを与えると想定されております。

新型コロナウイルス感染症が当社グループの業績に影響を与える未確定要素が非常に多くなり、現時点において適正かつ合理的に算出することは困難であることから、通期連結業績予想を「未定」とさせていただきます。

今後、適正かつ合理的な算出が可能になり次第、あらためて速やかに開示いたします。

㈱小田原エンジニアリング

© 2020 Odawara Engineering Co., Ltd. All rights reserved.